

## 美術研究科芸術学専攻 美学/日本東洋美術史/西洋美術史/工芸史

### 養成人材およびカリキュラム編成の方針

芸術学専攻（美学・美術史）修士課程は、美学や美術史の分野における研究者や学芸員等の専門職、あるいは専門知識を活かして出版や文化事業などの職種で活躍する人材を養成することを目的としている。

そのため、修士課程では、美学・美術史の各分野の演習、特殊講義を通して専門的知識を学ぶとともに、各研究室で毎週行われる課題演習における発表、ディスカッション、および修士論文の作成・指導を通して、美学や美術史の領域における専門家としての活動の基礎を築く。

### 求める入学者像

- ・美術を中心とした芸術の理論や歴史に深い関心を持つ者
- ・美学や美術史の専門的研究を行うことを希望する者
- ・研究者、学芸員などとして、専門的立場から芸術と社会を結びつける活動をしたいと考える者
- ・専門知識を活かして出版や文化事業などでの活動をしたいと考える者

### 卒業認定・学位授与の方針

最終年次の「修士論文」を含めた所定の単位を修得した学生を修了と認め、修士の学位を授与する。

### カリキュラム構成

修士課程では、学生は1年次、2年次の2年間にわたり、美学、日本・東洋美術史、西洋美術史、工芸史のいずれかの研究室に所属し、各分野の演習や特殊講義を通じて、深い専門知識を習得する。

1年次、2年次に必修として各研究室の課題演習に参加し、各自の修士論文の内容をなす研究の発表を行い、教員や他の学生とのディスカッションによって研究を深める。

最終年次では、各教員の個別指導を受けながら、修士論文を執筆する。

### 教育目標

- ①美学・美術史学の領域における専門的知識を得る。
- ②美学・美術史学の領域において学問的・社会的活動を行うための具体的方法を習得する。
- ③美学・美術史学の領域において理論的分析・解釈を行う高度な能力を身につける。